

D.ボンヘッファー(1906~1945)の 遺稿『倫理』を新版で読む

素晴らしい茶室(清心庵)で、抹茶と季節の生菓子を楽しみ、心を清め
覚醒してボンヘッファーを共に学びませんか。



遺稿『倫理』(1940~43)には、非暴力平和主義者ボンヘッファーがヒトラー暗殺・クーデタ計画に参画していく「抵抗の<論理と倫理>」が記されています。しかし、そこには「抵抗」だけではなく、ドイツの戦後を見据えた「再建の<論理と倫理>」も描かれています。

厳密に校訂されたテキストと新しい執筆年順配列に加え、詳細な脚注を参照しながら、邦訳とは違う新版の醍醐味を味わいます。12回のゼミで『倫理』を読み通すことは至難の業です。参加者の協力をお願いする次第です。



講師 山崎 和明 (四国学院大学名誉教授)

日時 ① 2020年 **4月22日** ~ ⑪ 2021年 2月 (詳細日程裏面)
第3 または 第4水曜 18:30~20:30

⑫ 2021年 3月24日(水) 16:00~25日(木)13:00

場所 関西セミナーハウス (Tel.075-711-2115(代)) ※裏面に地図

参加費 ①~⑪ 1回 1,500円[①~⑪回数券15,000円] (抹茶と和菓子付き)、⑫は別途



山崎 和明 やまさき かずあき

1953年大阪市生まれ。大阪市立大学法学部卒、同法学研究科博士課程修了(法学修士)。2002年東北大学法学研究科(法学博士)。1983年より四国学院大学専任講師、助教授、教授、大学院教授を経て、定年退職(2018年)。その間、ミュンヘン大学(1976/77、2008/09)、ボン大学(1982/83)、ハイデルベルク大学(1989/90)にて、E. ファイル教授、E. ベートゲ教授、K. D. ブラッハー教授、H. E. テート教授の下、ボンヘッファーおよびドイツ教会闘争を研究。日本ボンヘッファー研究会前会長。

ボンヘッファー関連の訳・著書としては、E. & R. ベートゲ著・宮田光雄共訳『ディートリヒ・ボンヘッファー』、E. ファイル・日本ボンヘッファー研究会共訳『ボンヘッファーの神学』、H. E. テート・宮田光雄、他共訳『ヒトラー政権の共犯者、犠牲者、反対者』、『D. ボンヘッファーの政治思想』など。

2020年度 シラバス

第1回	4月22日	第4水曜	18:30~20:30	伝記的なこと、時期区分、その他
第2回	5月20日	第3水曜	18:30~20:30	キリスト、現実、善
第3回	6月24日	第4水曜	18:30~20:30	形成としての倫理学
第4回	7月22日	第4水曜	18:30~20:30	遺産と没落 罪責、義認、回復
第5回	8月26日	第4水曜	18:30~20:30	究極のものと究極以前のもの
第6回	9月23日	第4水曜	18:30~20:30	自然の生
第7回	10月21日	第3水曜	18:30~20:30	歴史と善1 歴史と善2
第8回	11月25日	第4水曜	18:30~20:30	責任ある生の構造、責任の場
第9回	12月23日	第4水曜	18:30~20:30	神の愛とこの世の崩壊
第10回	1月27日	第4水曜	18:30~20:30	教会とこの世1、この世に語る教会の言葉の可能性
第11回	2月24日	第4水曜	18:30~20:30	主題としての「倫理的」事柄と「キリスト教的」事柄
第12回	3月24日 ~25日	第4水・ 木曜	水16:00~ 木13:00 (昼食後)	具体的戒めと神の委任

* 「付属論文」の取り扱いについては、参加者と相談のうえ決めます。

* シラバスの内容は、変更することがあります。

* 第12回は、1泊2日です。料金は別途設定します。

《申込と締切》電話、FAX(下記)、E-mail、Webフォームなどで開催日の**3日前まで**に下記までお申込みください。**連続参加**の方は、2回目以降ご欠席の場合ご連絡ください。

【主催・お申込】

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
 関西セミナーハウス活動センター
 〒606-8134京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
 電話:075-711-2117 FAX:075-701-5256
 E-メール:office@academy-kansai.org
<http://www.academy-kansai.org/>



【申込書】

——「D. ボンヘッファーの遺稿『倫理』を新版で読む」——

(フリガナ) 名前	所属	連続参加・1回参加(第 回)
住所		
電話 ()	FAX ()	携帯 ()
電子メール:		@

FAX:075-701-5256